

## バージョン1.0.35

レベル	ブロック	せつめい
999	ひらかれた	作品が開かれたら始まる。
999	キャラがタッチされはじめた	じぶんのキャラがタッチされはじめたら、始まる。「キャラがタッチされた」とのちがいは、指を画面から離さなくても始まる点。長押しやドラッグのために使う。
999	～キーがおされた	物理キーボードのキーがおされたら、はじまる。「スペース、←→↑↓、a～z、0～9」に対応。おされたキーは「おされたキー」変数で調べられる。
999	～キーをおす	「～キーがおされた」ブロックを駆動する。「スペース、←→↑↓、a～z、0～9」に対応。物理キーボードがないときに使う。
999	スクリプトをとめる	「この」は、そのキャラのそのとき実行している一連のブロックを止める。 「ほかの」は、そのキャラがそのとき実行しているブロック以外の一連のブロックを止める。 「すべての」は、全てのキャラがそのとき実行している一連のブロック。
999	～をかえす	「ブロックをつくる」で値ブロックをつくる時、そのブロックの内部で出た結果をかえすのに使う。
999	ブレークポイント	そのとき実行している一連のブロックを中断し、その後のブロックを1つずつ実行する。
999	シンクロ	排他制御する。Java言語の synchronized(this) に相当する。
999	よこのいち～たてのいち～にうごく	キャラの横の位置と縦の位置を同時に設定する。特にペンで線を描くとき、「よこのいち」と「たてのいち」を同時に設定したいときに使う。
999	よこのいち	キャラの横の位置を表す変数。「へんすうを～にする」の変数に、この「よこのいち」を入れることで、横の位置を～に移動できる。「くみたてよう > コラボ! 逆転オセロニア > ボードづくり Lv1」を見よう。
999	たてのいち	キャラの縦の位置を表す変数。
999	おおきさ	キャラの大きさを決める変数。1.0 がもとの大きさ。0.1～10.0にできる。
999	いろのこさ	キャラの透明度を決める変数。通常255。0が透明。0～255にできる。
999	ステルス	キャラとぶつかったか分からなくする変数。通常は0。1にするとキャラとぶつかったか分からないかわりに、パフォーマンスがよくなる。
999	ダイアログ	指定した見出しと文章でダイアログをだす。ダイアログのボタンをおすと「しらべる」の「ダイアログのへんじ」ローカル変数に結果が入り、次のブロックを実行する。
999	★を～こあげる	★をあげる演出をする。1～3にできる。自分の作品やみんなの作品で★をあげても、メニュー画面左上の★の数には反映されない。
999	じぶん	自分のインスタンスをあらわす。「くみたてよう > コラボ! 逆転オセロニア > ボードづくり Lv2」のヒントをみよう。
999	よびだしたキャラ	自分のインスタンスをあらわす。「くみたてよう > コラボ! 逆転オセロニア > ボードづくり Lv1」のヒントをみよう。
999	キャラを よこのいち たてのいち によびだす	選んだキャラを、指定した横の位置と縦の位置によびだす。
999	へんすうを からっぽの はいれつにする	空の配列をつくる。「くみたてよう > コラボ! 逆転オセロニア > ボードづくり Lv3」のヒントをみよう。
999	へんすうを からっぽの じしょにする	空の辞書をつくる。辞書は、連想配列とも呼ばれる。配列のような数字ではなく、文字も添字にできる。
999	へんすう[そえじ]	配列の添字の要素を読みこむ。「くみたてよう > コラボ! 逆転オセロニア > ボードづくりLv3」のヒントをみよう。
999	へんすう[そえじ]を～にする	配列の添字の要素を書きこむ。「くみたてよう > コラボ! 逆転オセロニア > ボードづくりLv3」のヒントをみよう。
999	へんすうの ようそすう	配列の要素数。例えば配列に0と1が入っていれば、要素数は2。
999	[+]	配列をつくる。[+]をおすと、おした数だけ配列の要素を確保する。
999	～をはいれつのさいごにつけたす	配列の最後に要素を追加

999	はいれつ <small>のさいご</small> をとりのぞく	配列の最後の要素を削除
999	はいれつをシャッフルする	配列の要素の順番をランダムに入れ替える
999	じしょのキーはいれつ	辞書のキー配列をつくる
999	テキストのながさ	テキストの文字数
999	テキストをはいれつにする	テキストを1文字ずつの配列にする
999	～をおおもじにする	アルファベットを大文字にする
999	～をこもじにする	アルファベットを小文字にする
999	小数点以下～ケタに四捨五入	小数点以下を指定桁に四捨五入/きりあげ/きりすて
999	小数点以上～ケタに四捨五入	小数点以上を指定桁に四捨五入/きりあげ/きりすて
999	～が～ではない	左の～が、右の～とが、同じではない。
999	～ではない	～が、あっていない。
999	～が～以下	左の～が、右の～以下。
999	～が～以上	左の～が、右の～以上。
999	タッチされた よこのいち	タッチされた よこのいち。
999	タッチされた たてのいち	タッチされた たてのいち。
999	今の年	そのときの年月日時分秒をあらわす。
999	1970年からの秒	そのときの1970年からの秒をあらわす。
999	～cm	「～すすむ」ときの単位は、画面をよこ800・たて430とするが、これをcm単位にするときに使う。
999	ダイアログのへんじ	ダイアログブロックでボタンをおされた結果。左からボタンの数字が0、1、、、となっている。「OK」なら0。「はい」なら0、「いいえ」なら1。
999	おされたキー	キーがおされたときの文字。「スペース、←→↑↓、a～z、0～9」
999	1と2の大きいほう	左右の数字の大小を比較し、大きい数字を返す。
999	1と2の小さいほう	左右の数字の大小を比較し、小さい数字を返す。
999	さくひんの だいめい	この作品の題名。
999	ブロックをつくる	ブロックをつくる。くわしくは「くみたてよう > コラボ!逆転オセロニア > ボードづくり Lv1」のヒントをみよう。
999	あたいブロックをつくる	値ブロックをつくる。くわしくは「くみたてよう > コラボ!逆転オセロニア > ボードづくり Lv3」のヒントをみよう。
999	ペンを～よせにする	ペンで字を書くとき、左寄・中央寄・右寄を変更する。このブロックで指定しないときは中央寄。複数行のときのみ意味がある。
999	ペンを てまえにもってくる	キャラの上に重ねて線を引いたり字を書いたりできるようにする。このブロックを使わないときは、キャラの下に線や字が出る。
999	～をよこのいち[]たてのいち[]にかく	ペンをすらすら、直接指定した座標に字を書く。